

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護援助論Ⅱ	NSP33_008	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
渡邊 美樹	303	m-watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	在宅看護に特徴的な看護過程が実施できる基礎的な知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、模擬事例における在宅看護過程の展開を行い、対象者の把握から看護の実施までを演習を通して体験する。立案された看護計画をロールプレイにより実践することで臨場感を持った看護実践を体験する。授業ごとに提出するリアクションペーパーやメールにて教員への質疑を行い教員から助言を受け在宅看護に関する理解を深めていく。				
学習上の助言	療養者や家族のその人らしい生活ができるように、看護の力で何ができるか。積極的に紙面演習に取り組むことで、看護実践への期待を膨らませて欲しい。				
教科書	ナツク・ガラフィ在宅看護論① 地域療養を支えるケア(第6版)/著:臺有桂 他/メテイ出版/2019				
参考書	ナツク・ガラフィ在宅看護論② 在宅療養を支える技術(第1版)/著:臺有桂 他/メテイ出版/2018 強みと弱みから見た在宅看護過程+総合的機能関連図/編:河野あゆみ/医学書院/2018				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅看護に興味を持ち、主体的に学習に取り組むことができる	NS(1)、(5)			
②	疾患や障害による療養者と家族への身体・心理・社会的影響をアセスメントできる	NS(2)~(4)			
③	療養者と家族が安心・安全に療養を継続するための看護計画が立案できる	NS(2)~(4)			
④	立案した看護計画を振り返り、在宅看護過程の展開を評価することができる	NS(2)~(4)			
⑤	地域における看護活動への興味を深め、臨地実習への意欲を高めることができる	NS(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1・2	在宅看護過程の展開方法① 在宅看護過程の特徴を学ぶ	講義・演習	復習:演習ワークの振り返りと学びをまとめる	1	
3・4	在宅看護過程の展開方法② 在宅ケアサービスについて学ぶ	講義・演習	予習:在宅ケアサービスについて学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
5・6	在宅看護過程の展開方法③ 在宅看護過程の展開の実際を学ぶ	講義・演習	予習:事例に関連した事前学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
7・8	事例を用いた在宅看護過程演習① 情報の整理とアセスメント	講義・演習	予習:事例に関連した事前学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
9・10	事例を用いた在宅看護過程演習② 看護課題の抽出・看護目標の設定	講義・演習	予習:事例に関連した事前学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
11・12	事例を用いた在宅看護過程演習③ 看護計画立案	講義・演習	予習:事例に関連した事前学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
13・14	事例を用いた在宅看護過程演習④ 看護計画の実施と評価	演習(RP)	予習:事例に関連した事前学習 復習:授業内での学びをまとめる	2	
15	在宅療養者や家族が生活する地域を知る方法を学ぶ	講義・演習	復習:授業内での学びをレポートにまとめる	2	
試	レポート試験 達成度評価・評価ポイント参照				

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	20	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	5	5	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	5	5	10
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	予習では各授業に必要な知識や認識を整理し授業に臨む。また、復習では授業からの学びをまとめる。これらの予習→授業→復習を通して、在宅療養者の生活を支える在宅ケアサービスおよび看護の必要性を考察し、最終レポートを提出する。毎回の予習・復習課題及び最終レポートにて知識や思考力の評価を行う。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①	✓	模擬事例において立案された看護計画をロールプレイにて実践する。他者のロールプレイからの気づきや学びを学生同士で意見交換する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①	✓	在宅看護学に興味を持ち、積極的・主体的に授業に取り組む姿勢を評価する。学生は、初回授業で配布する「演習ガイド・記録用紙」に従い、課題に取り組み、学びを整理していく。復習として教科書や資料を見直し学びをまとめる中で、学習への意欲や自己の課題を明らかにし「演習ガイド・記録用紙」を提出する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	全日程の出席を前提とする。理由のない欠席は授業への取組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
対面授業を行います。大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守してください。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性があります。							
この科目は、担当教員が市町村における行政保健師活動および訪問看護活動等の経験を元にして、病院から地域への療養移行支援から在宅療養支援の実践事例を交えて授業を進めます。							